

目指すべき学校像	国際社会に生きる人材育成を最高の目標とし、人格の完成、豊かな情操を育み、探求心旺盛な自主的・自律的な精神に満ちた心身共に健全な人間育成に期する。
重点目標	A 民族教育 在日韓国人としての自覚と矜持を涵養する。 B 学習 国際社会に主体的に適応できる能力を育てる。 C 人権教育 自主的な生活実践を通して社会に奉仕する人間を育成する。 D 学校生活 個性を伸ばし、創造性を育てる。

達成度	A+	大いに達成 (90%以上)
	A	ほぼ達成 (80%以上)
	B	概ね達成 (70%以上)
	C	変化が見られる (40%以上)
	D	不十分 (40%未満)

達成度は、児童アンケートで、「A：よく当てはまる」「B：やや当てはまる」の数値(%)の合計で表す。

重点目標	評価指標	具体的な取り組み	自己診断	達成状況	達成度	今後の改善方策
A る矜し 在持て 日 をの韓 涵自 国 養 覚 人 す と と	⑫学校行事を通した民族的素養	・韓国と同じICT教材による韓国語学習	・低学年で9割以上、高学年で8割ほどが韓国語学習に意欲的に取り組み、語学力の向上を実感している。単語アプリによる学習法も高評価を得た。 ・韓国語や韓国の文化を学ぶことを肯定的に捉える回答が9割あり、民族的素養を育む教育活動が展開できた。	⑫ 94%	A+	・全般的な方案は継続していく。学年が上がっても、興味、関心、意欲を持って韓国語学習に取り組めるよう、更なる授業研究を図る。 ・ルーツを持たない児童への韓国語学習や民族教育のサポート体制を継続する。
	⑬韓国語学習の理解度	・韓国語の単語学習アプリの導入 ・校内韓国語単語級数試験の試験方法の改定		⑬ 91%		
B る国 際 力 社 を 会 育 に て 主 体 的 に 適 応 で き	⑭民族教育を通した人格形成	・低学年韓国語の放課後補習の実施		⑳ 93%		
	③授業の理解度	・学習支援員の授業への入り込みや個別学習の実施	・9割近くの児童が授業は分かりやすいと感じ、宿題などの家庭学習も身につけている。 ・読書の習慣では低学年89%、高学年62%で差が大きく、授業での図書室利用が結果として表れた。	③ 91%	A	・学力定着・向上については、低学年は学習支援員による個別学習や授業への入り込み補助教員を継続していく。 ・読みたい本がすぐ手に取れるよに環境整備を検討する。 ・児童の発達段階、課題や目的に応じて情報手段を主体的に活用していく。タブレットの設備充実を図る。 ・授業アンケート、研究授業を継続し、教員の授業力の研鑽を図る。 ・Recitation大会の課題設定を研究し、学習の成果を実感できる発表の場としての参加拡大を図る。
	④学力・運動の向上	・低学年体育に体操ダンスを活用		④ 93%		
	⑤宿題・課題への取り組み	・副教材や問題集の系統化と課題の研究	⑤ 90%			
	⑥読書指導	・図書委員会や読書クラブによる読書活動	⑥ 76%			
⑦発表力の向上	・定期的な研究授業、授業アンケートの実施と振り返り	⑦ 72%				
⑧観察・実験・交流・体験学習	・学年に応じたタブレット学習の研究、国語と算数はデジタル教材を用いた授業の展開の強化	・感染予防対策下、タブレット型学習は増加し、ICTの活用は9割以上と好転したが、体験型学習や発表は「伝える」「鑑賞する」「自分で体験する」への学習の転換があり、7割と悪化した。	⑧ 77%			
⑨ICT教育・デジタル機器の活用	・homeworkの継続と授業内容や英語活動の周知	・1年生から英語ワークブックを活用し、6年間の学習目標、カリキュラムが確立し学習効果がでてきた。英語活動への参加者も増えている。	⑨ 92%			
⑭英語学習の理解度	・校内英語Recitation大会、外部TOEFL Primary受験の実施		⑭ 83%			
C す仕を 自 主 的 に 人 間 社 生 を 会 活 育 に 実 成 奉 踐	⑩いのち・人権教育の学び	・学年別に、いのち、人権、福祉学習の実施	・人権学習は人的交流ができないなか、内容を工夫し行った。例年と準じた8割の評価だった。 ・いのちの授業2.3.4年は外部講師による出張授業として、児童、保護者とも評価も高い。全学年で6年間を通した実施の要望も多い。	⑩ 85%	A	・福祉授業は、より子ども達が自主的で発展的な活動が行えるよう、教員の研究や研修への参加を推進していく。いのちの授業は全学年で系統的に学べるよう研究する。 ・今後も子どもが困りごとを相談しやすい校内環境づくりに努める。教員による積極的な声かけや見守りを継続し、問題を早期発見し、チームで解決する体制を継続していく。
	⑮相互理解・他者への思いやり	・自主的で発展的な活動方法の推進 ・いじめアンケートの実施と教員間の共通理解と連携強化		⑮ 90%		
D る個 性 を 伸 長 し、 創 造 性 を 育 て	①学校生活の充実度	・運動会、学芸発表会、児童会活動、縦割り活動の活発化	・児童ひとり一人が感染対策やきまりを守りながら、学校生活を送った。できることを工夫し、一生懸命取り組む姿が見られた。 ・感染予防から行事の縮小や変更、宿泊学習の中止もあった。	① 93%	A+	・今後も学校行事が個々の自主性や情操教育に繋がるよう計画、実行していく。 ・肯定的な結果も真摯に受け止め、より一層教育活動を充実し、全教員で改善できることを実践していく。 ・通学マナーについては、委員会などと連携し、自発的な活動も模索し指導していく。
	②自己肯定感	・スクールカウンセラーとの連携と教員研修の継続		② 92%		
	⑱防災学習・安全安心な学校	・防災、安全教育の計画的実施		⑱ 93%		
	⑯友だちとの協力	・未然防止に向けて教員間の意見交換や連携の強化	⑯ 94%			
	⑰きまり・通学ルールの遵守	・集団下校指導や学校生活ふり返りシートの実施	⑰ 94%			
	⑲公共性・ものを大切に扱う心	・清掃活動、委員会活動の自主的な取り組み	⑲ 95%			
⑲課題への取り組み	・一人ひとりに応じた学習の支援と家庭との連携強化	・学習や学校行事に主体的に参加し、友だち関係や学校生活を良好とする回答が9割を超える。 ・感染予防対策として、通学電車の利用時間帯を拡大し、通学の安心安全の方策とした。	⑲ 92%			